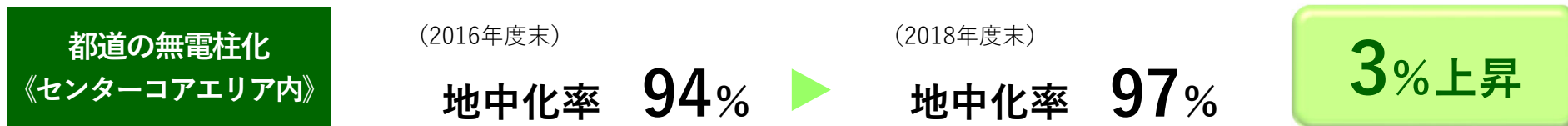
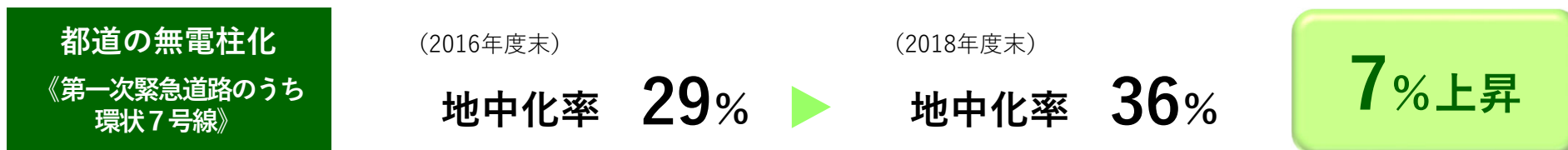


セーフシティ

【無電柱化の促進】



センターコアエリア：東京都の首都高速道路中央環状線（C2）内側の地域で、概ね首都を担う東京圏の中核エリアのことを指す。



無電柱化チャレンジ支援事業制度：

○事業化に向けた検討に要する費用や支障移設や本体構築等の工事に要する費用に対して補助

事業名	補助内容	補助率
無電柱化推進計画等の策定	無電柱化推進計画・基本方針を策定するのに必要な基礎調査に係る費用 無電柱化推進計画・基本方針の策定に係る費用	都費100%
無電柱化チャレンジ路線の検討	無電柱化チャレンジ路線の選定に係る調査・技術検討に係る費等 技術検討会・地元協議会の運営補助及び地元合意形成に係る費用	都費100%
無電柱化チャレンジ事業	無電柱化チャレンジ路線の事業実施に係る費用・地上機器設置に伴う用地取得に係る費用 等	国費55%・都費45% (測量設計費は都費100%)

セーフシティ

【災害に強いまちづくり】

特定緊急輸送道路
沿道建築物の耐震化

(2015年12月)

耐震化率 **80.9%** ▶

(2019年6月)

耐震化率 **85.7%**

4.8%増

災害拠点病院の耐震化

(2015年9月)

耐震化率 **91.3%** ▶

(2018年9月)

耐震化率 **96.3%**

5.0%増

私立の高等学校
の耐震化

(2016年4月)

耐震化率 **93.7%** ▶

(2019年4月)

耐震化率 **95.8%**

2.1%増

私立の幼稚園
の耐震化

(2016年4月)

耐震化率 **91.5%** ▶

(2019年6月)

耐震化率 **94.1%**

2.6%増

都営住宅の耐震化

(2015年度)

耐震化率 **87.5%** ▶

(2019年6月)

耐震化率 **94.7%**

4.1%増

調節池の整備
(供用中)

(2015年度)

約 **219万m³** ▶

(2018年度)

約 **256万m³**

37万m³増

現在整備中
の調節地：

名称	貯留量	本体工事着工	名称	貯留量	本体工事着工
下高井戸調節池	30,000m ³	2017年	野川大沢調節池 (拡張)	68,000m ³	2017年
環状七号線地下広域調節池	681,000m ³	2017年	境川金森調節池	151,000m ³	2018年
和田堀公園調節池	17,500m ³	2018年	境川木曾東調節池	49,000m ³	2019年 (準備工事)
城北中央公園調節池	250,000m ³	2018年			

セーフシティ

【安全・安心】

救急隊の現場到着
までに要する時間

(2015年)

(2019年：速報値)

7分45秒



6分35秒

1分以上短縮

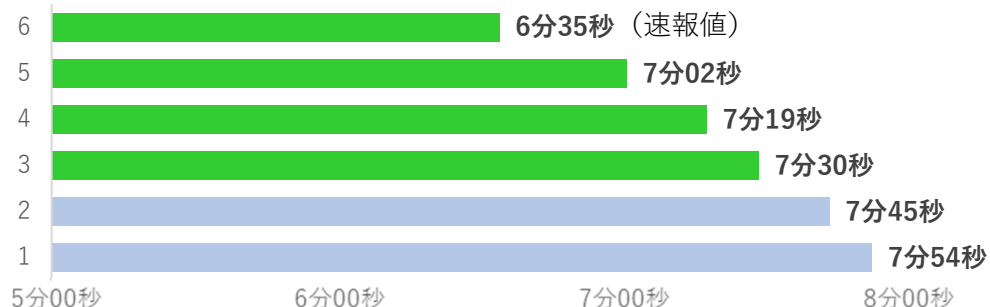
救急隊平均到着時間：

○救急需要が増加傾向にある中、
着実に平均到着時間の短縮を実現

《救急出場件数》

2015年：759,853件

2019年：825,933件 (+8.7%)



通学路に
防犯カメラを設置

(2016年度末)

(2018年度末)

累計 912校



全公立小学校

全公立小学校の
通学路に設置

各校の通学路の状況等により区市町村が
設置不要とした小学校を除く累計1,254校

犯罪認知件数

(2015年)

(2018年)

148,182件



114,492件

23%減

空家等対策計画を
策定した区市町村の
全区市町村数に対する割合

(2017年度末)

(2018年度末)

32%



50%

18%上昇